

第9期アトム通貨総会

会期：2013年2月22日（金）場所：早稲田大学内22号館2階・203教室

1. 開会のあいさつ:アトム通貨実行委員会会長 安井潤一郎

2. 2012年度事業報告

本部より事業、広報関連について:日高

早稲田・高田馬場支部:木野知

埼玉県川口支部:田辺

北海道札幌支部:土屋、宮島

宮城県仙台支部:赤木

埼玉県新座支部:金子、梶原

埼玉県和光支部:富岡、田村

沖縄県八重山支部:平田

愛知県春日井支部:加藤、水野、青山

東京都新宿支部:佐藤、竹内

愛知県安城支部:榊原

宮城県女川支部:阿部、遠藤

休憩

3. 2013年度の計画:本部石渡

契約の変更、来期通貨デザインと500馬力発行、商品化(クラウドファンディング、地域資源活用)、ギネスワールドレコーズ申請

4. 各支部での成功事例紹介

行政の巻き込み～春日井支部

観光誘客～八重山支部

福祉ささえあい～新座支部

商店街連携～安城支部

5. 質疑応答(新規参入予定者含む)

6. 2013年度事業スケジュール

以上

本部で行ってきた取組（事業関連）

昨年度は、震災の影響が強く、復興色の強い活動が中心となり、アトム通貨としての際立って大きなアクションを起こすにはいたらなかった。

今年度は、基本理念を振り返り、地域に根付いた取り組みを視野に入れ、地域ごとの特色を生かせるような基盤づくりを進めた。

次年度に向けても引き続き各地域に目を向け、一つ一つの支部が充実かつ質の高い取り組みができるようなシステムを構築する。

1. 地域ブランド確立の基盤づくり

アトム通貨内藤とうがらし再興プロジェクト

かつて江戸時代の内藤藩下屋敷を中心に栽培が栄えていたとうがらしを、再び現代の新宿区で蘇らせる「内藤とうがらし再興プロジェクト」。

2012年6月。伝統江戸野菜の復活による地域ブランドづくりをアトム通貨が提唱し、趣旨に賛同いただいた地元の企業・団体・学校、計17社がとうがらし栽培を行う取り組みを開始した。

実ったとうがらしは乾燥させたものを回収し、地元の飲食店で提供され、注文客にはアトム通貨が進呈される。

<参考：3月以降とうがらし料理提供決定店舗>

リーガロイヤルホテル東京/鉄板焼大都会本館/一番飯店/マルコメキッチンカー



今年度は地元企業を核に、企業の持つPR効果を利用してプロジェクトの周知期間に宛てた。来年度は地域住民を巻き込み、1000苗の栽培を試みる。

平成24年度農林水産省 知的財産戦略ブランド化総合事業 食文化活用創造事業(地域段階) に「アトム通貨内藤とうがらし再興プロジェクト」が採択。

平成24年度農林水産省知的財産ブランド化構想(地域段階)に採択され、戸塚地域(早稲田・高田馬場・下落合)の新たな特産物誕生に向け、中長期的な展開を開始。

この事業では、生産者や飲食業等が連携し、農林水産物を核とした伝統料理のPRや、創作料理の開発などによる食文化の創造が目的とされている。

協議会や検討会での試作、ディスカッションを繰り返し、地域ブランドの確立と知的財産権の取得を目指している。

今回の「内藤とうがらし」で地域ブランド化の基盤をしっかりと固め、今後支部が所在する各地域の特産物を、アトム通貨独自ブランド「十万馬力」として展開ができるような仕掛けづくりをする。

2. 東北震災復興事業での取り組み

仙台支部の通貨を他エリアで配布

離れた支部からエールを届け、風化させないために、他支部での仙台支部通貨配布を試みた。

イベント・プロジェクトで復興関連催事を行った際に配布された。

早稲田地球感謝祭 2012

共同出店を行ったマルコメのキッチンカーでは、東北特産物（わかめ・油麩）を使用した味噌汁販売。

味噌汁・・・30杯 / 糰ドリンク・・・85杯 / ソルティソーサー・・・76杯

売り上げは全額アトム通貨仙台支部にご寄付いただいた。

3. イベントへの参加

早稲田地球感謝祭 2012

文化放送、日経新聞折込を利用してエコキャップの回収を呼びかけた。

9月17日、マルコメキッチンカーとブースを並べて共同出店。

ステージでは文化放送「レコメン！」DJ のりさん所属のお笑いトリオ・オテンキのショーを開催。マルコメ君とアトムの夢の共演も。



浜松町グリーンサウンドフェスタ 浜祭

文化放送番組を利用してエコキャップの回収を呼びかけた。

11月3日、文化放送 1F メディアプラスにてアトム着ぐるみと共にキャップ回収。

来場者数：10万4000人

エコキャップ回収：ダンボールで37箱（88,000個）

アトム通貨配布枚数：630枚（630名のキャップ持参）

リスナーのエコキャップ分別意識が浸透。

本部で行ってきた取組（広報関連）

第9期アトム通貨メールマガジン発行

[読者数（2月5日時点）]...307人 [発行回数]定期発行...10回

Vol.1 4.2 第9期流通開始のご案内/イベント情報

Vol.2 5.2 イベント情報

Vol.3 6.1 内藤とうがらし再興プロジェクト始動/イベント情報

Vol.4 7.2 仙台支部通貨の他エリア配布について/イベント情報

Vol.5 8.1 女川支部設立/新着情報

Vol.6 9.5 早稲田地球感謝祭 2012 出店詳細/内藤とうがらし進捗状況/支部情報

Vol.7 10.3 イベント出店報告/「全国まちづくり商店街サミット in 安城」開催

Vol.8 10.26 浜祭 2012 出展/内藤とうがらし第1回料理検討会報告/新着情報

Vol.9 12.4 女川支部ページ設置/年末年始に関して/内藤とうがらし第2回料理検討会

Vol.10 2.1 第9期流通は今月末/2012年度アトム通貨総会・懇親会開催/
書籍「地域通貨」ご紹介/内藤とうがらし進捗状況

Web 関連

公式サイト <http://atom-community.jp/>

[月間平均 PV 数] 12000PV（訪問者数 4000人）



[考察]

- ・ 訪問者数に対し PV 数が多いのは、訪問者がページの隅々を閲覧している傾向がある
- ・ アトム通貨 + 地域名 での検索が多い
自分の住まいの近くで流通しているのかを調べている/導入を検討している
- ・ アトム通貨 + 定着した催事名
アトム通貨がもらえるか? もらえる場所の確認
- ・ 他、多いキーワード
修学旅行、講演、加盟店、換金場所・・・ 目的をもって調べているケースが多い

Facebook ファンページ <http://www.facebook.com/atom.community>

[ページに対する「いいね」数] (2月14日時点) 444人



各支部からの申請をもとに、注目イベントを配信。
Facebook でイベント開催を知るなどの効果がみられる。
次年度はイベント報告などのアップも心がけたい。

Twitter @atom_pr

[フォロワー数] (2月7日時点) 155人

Twitter は現在 Facebook のウォール内容を自動転送するのみ。

内藤とうがらし再興プロジェクト ブログ

<http://ameblo.jp/atomtugarashi>



2012年6月より、プロジェクトの進捗状況をアップするために立ち上げ。栽培参加企業からの栽培日記投稿ができるシステムに。今後料理店舗紹介など更なる充実を図る。
プロジェクト単独のブログは初。公式サイトにブログバナー設置。

メディア情報のとりまとめのお願い

流通範囲の拡大と支部増加により、本部広報のみでは情報収集が厳しい。引き続き取上げられたラジオ、TV、新聞、雑誌、情報誌等の情報は、各支部でまとめていただきたい。
放送・掲載日、媒体、内容など、分かる範囲で結構です。
事前に放送日が確定しており、好評可能のものは紹介しますのでお知らせください。
(日に TV で地域イベント取り組み取材の一環でアトム通貨が紹介されます。など)

媒体	番組・雑誌・新聞名	備考
TV	名古屋テレビ メ〜テレ「UP！」	春日井支部の取組がO・Aされました。
雑誌	月刊ジュニアエラ	特集「キミの知らないお金のはなし」に掲載されました。
新聞	河北新報(夕刊)	仙台支部第9期流通開始が紙面掲載されました。
新聞	河北新報社	マルシェ・ジャポン・センダイの取り組みが掲載されました。
新聞	東京新聞(朝刊/都心版、山手版)	内藤とうがらし再興プロジェクトが紙面掲載されました。
TV	TOKYO MX	内藤とうがらし再興プロジェクト決起集会の様子がO・Aされました。
新聞	日刊工業新聞	内藤とうがらし再興プロジェクト取材
新聞	日本経済新聞	伝統野菜を復活する取り組みの紹介として、内藤とうがらし再興プロジェクトが掲載されました
TV	TBS「みのもんたの朝スパッ！」	江戸野菜のひとつとしてで内藤とうがらし再興プロジェクト紹介されました。

ラジオ	ニッポン放送「ごぼんフライデースペシャル」	内藤とうがらし再興プロジェクトが紹介されました。
広報誌	バルシステム広報誌「のんびる」	早稲田・高田馬場支部事務局取材
書籍	今井書店「地域に飛ぶ出す公務員ハンドブック」	通貨の仕組みなどが掲載されました。
雑誌	近代セールス	ビジネストレンドを追う！のコーナーに掲載されました。
教材	東京法令出版「フォーラム現代社会」	中学公民教科書副読本にアトム通貨が掲載されました。
雑誌	家の光協会「ちゃぐりん」	アトム通貨の取り組みが掲載されました。
新聞	東北復興新聞	特集「地域コミュニティの仕組みづくりを考える」前編・後編 に掲載されました。
Web	マルコム Web マガジン「発酵美食」	内藤とうがらしを連載掲載。「第二回内藤とうがらしを町の顔に」
雑誌	大韓航空機内誌「beyond」	手塚特集で高田馬場の町やアトム通貨の取り組みが掲載されました。(英語、韓国語のみ) http://beyond.koreanair.com/
書籍	ミネルヴァ書房「地域通貨」	福祉 + カテゴリ「地域通貨」石渡執筆 定価 3000 円 + 税
Web	マルコム Web マガジン「発酵美食」	内藤とうがらしを連載掲載。「第一回内藤とうがらし はじまりの物語」
雑誌	週刊「世界の貨幣コレクション」7号	アセット・コレクション・ジャパン全 80 号の内 7 号。お金の法律にまつわる素朴な疑問の「地域通貨」の代表として。

以上

支部名:早稲田・高田馬場支部

支部概要について

・中心団体と協力団体

中心団体:アトム通貨実行委員会早稲田・高田馬場支部

協力団体:

早稲田大学周辺商店連合会

(大隈通り商店会、古書組合、早大通り商栄会、早大西門体育館通り商店会、南門通り商店会、早稲田駅前商店会、早稲田グランド商店会、早稲田商店会)

高田馬場西商店街振興組合

高田馬場銀座商店街振興組合

早稲田大学

後援:新宿区

・2012年度の加盟店数と特徴

飲食・物販・サービス業など約190店舗が加盟しています。第1期(2004年)から多くの加盟店に継続してプロジェクトを実施していただき、マイバックプロジェクトのように地域に定着したプロジェクトが生まれています。通年のプロジェクトのほかにも「キャンドルナイト」など、期間限定のプロジェクトを実施し、多くの加盟店にご協力いただきました。

・2012年度発行馬力数(見込み)

10馬力×24,771枚

50馬力×5,653枚

100馬力×4,550枚

計985,360馬力(2013年2月15日現在)

・換金率 2011年度実績 約53% 2012年度見込み 約60%

2012年度の活動目標と達成度

・活動目標

今期は地域の小中学校や学生団体を始めとした他団体とのつながりを広げ、深めることで、来期以降も継続して連携していくための土台を築くことを目標としてきました。8年間の積み重ねがある一方で一度限りのつきあいに終わってしまったことも多かったため、今期は特に他団体との継続的な交流を心がけました。具体的な活動としては、年間を通して取り組んだ東日本大震災の復興支援企画である「キャンドルYell」があります。この企画では地域で震災の風化を防ごうと、小学校で子どもたちと被災地への応援メッセージを添えたエコキャンドルを作り、女川支部のご協力のもと宮城県女川町に届けたほか、早稲田・高田馬場地域でのキャンドルナイトを実施しました。

・活動によって得られた効果

「キャンドル Yell」によって、地域に関わる様々な方々とのつながりをもつことができました。まず、イベント実施先としてご協力いただいた小中学校や児童館(計6校)とのつながりをもつことができました。また、イベントを運営するにあたり、早稲田大学の学生団体や地域の専門学校の学生にも声をかけ活動しました。地域のお祭りへのブース出展ではエコキャンドル作製に使用する空き瓶を集めて地域住民の方々への活動発信も行う等、幅広く活動に取り組みました。またキャンドルナイトの実施にあたっては、女川支部・仙台支部の皆様にもご協力ならびにご助言いただき、学ばせていただくことが多々ありました。

・PR効果(媒体で取上げられた事例)

パルシステム情報誌「のんびる」、大学の広報誌、Web ページに掲載

メディア掲載が例年に比べ少なかった。来期はプレスリリースなど広報活動にも力を入れていきたい。

・達成できなかった点、課題

今後の課題は、「キャンドル Yell」で今期築いた各団体とのパイプをどのように活かしていくかという点です。来期以降も各団体との連携を継続していくことで、長期的には各団体から自主的にアトム通貨を配布していただけるような関係づくりを目指し、財政面でも安定した体制を築きたいです。

また、学生主体で運営しており、在籍年数に限りがあるために、文書だけでは残せない人間関係などのスムーズな引き継ぎも課題です。事務局運営だけで手一杯になるのではなく、他支部や他団体の取り組みを見学するなどして、より創発的な議論ができるようにしたいと考えています。

来期への展望

来期は流通量の倍増を目標として掲げ、まちの大きな存在である学生、商店会、小中学校を中心に活動していきたいと考えています。流通量を増やすためには私どもでイベントを実施するだけではなく、他団体にも積極的に通貨を配布していただく必要があります。そこで、早稲田大学の学生団体を主な対象に、公募制で通貨を配布できるようなシステムの構築を検討しています。これにより学生に対するPRを強化し、加盟店にも学生がいっそう足を運ぶようになることを期待しています。さらに、今期に引き続き小中学校等でのイベントを実施することで、地域の子どもたちやその保護者に対しアトム通貨の浸透を図ります。また、商店会と協力し既存のイベントでアトム通貨を活用していただいたり、プロジェクトの推進をしたりすることで実行委員会と加盟店の相互の関係性を強化し、より一層の地域コミュニティの活性化に努めます。

本部への要望

今後も、本部や他支部と連携して刺激を受けることで、活動を発展させていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

その他

・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例

早稲田・高田馬場支部の加盟店で現在行われているプロジェクトは、

マイ箸推進、マイバッグ推進、レジ袋使い回し大作戦、ハンガーリユース、古本購入
エコ商品購入、ボランティア活動参加、特産品購入
などです。

またイベントとしては、先述の「キャンドル Yell」の他にも今年度で 8 回目の開催を迎えた 7 月の「打ち水大作戦 2012」があります。早稲田大学での実施規模拡大に取り組み、計約 500 名もの学生が参加し環境意識啓発に努めました。また本部主導の連携企画である「内藤とうがらし再興プロジェクト」では、事務局として大学構内での内藤とうがらし生育、またメニュー開発などを地元企業、学校、NGO 団体を巻き込んだ形で取り組み、内藤とうがらしでまちを盛り上げるための一歩を踏み出しました。

(写真:左から打ち水大作戦 2012、第一回キャンドル Yell 教室)



・他の支部への質問

イベントにおける集客についての工夫などをお聞きしたいです。

また、財源の確保方法についてもアドバイスお聞かせください。

加盟店でのプロジェクト定着、関係づくりについても、工夫や取り組みなどがありましたらご指導お願いします。

支部名: アトム通貨実行委員会川口支部

支部概要について

・中心団体と協力団体

- 中心団体 = アトム通貨実行委員会川口支部
- 協力団体 = ・西川口東口連合商店会(西川口並木商店会、合格通り商店会、川口青五商店会、中通り商店会、観音通り商店会、並一商栄会)
- (社)川口青年会議所
- 川口商工会議所青年部
- NPO法人くればすおべんとう屋さん

・2012年度の加盟店数と特徴 73店舗(前年31店舗)

・2012年度発行馬力数(見込み) 204,560馬力(前年106,090馬力)

通貨種類	発行枚数	発行馬力
10馬力	6,331枚	63,310馬力
50馬力	595枚	29,750馬力
100馬力	1,115枚	111,500馬力
合計	6,241枚	204,560馬力

・換金率 2011年度実績 約 69 % 2012年度見込み 約 69 %

2012年度の活動目標と達成度

・活動目標

- 利便性向上の為、加盟店舗数100店舗への拡大
- 流通エリアの拡大
- 他団体による通貨の発行

・活動によって得られた効果

- **地域とアトム通貨のかかわりを求め学校教育の場へ**

第9期は先に挙げた3つを具体的な目標とし活動をしてまいりました。また、地域とアトム通貨のかかわりを強める為、地元小学校に依頼し授業の中で「商店街が行っている工夫」としてアトム通貨を紹介させていただけたことは、大変大きな収穫でありました。また小学校2、3年生を対象としたこの授業を事務局が務めたことで児童の約80%がアトム通貨を認知していることを知り得ることができ、その後小学校から頂いた冊子には「アトム通貨をもらいたい」などの興味あふれる感想が多く書かれていました。来期は本年度得ることができた地域の小学校とのパイプを生かした企画を行いたいと考えています。

➤ イベントを通じ、アトム通貨の価値を地域に提供

本年度は(社)川口青年会議所、川口商工会青年部と市内を代表する二つの大きな団体とイベントに取り組めたことは動員数、通貨の発行枚数、発行馬力などにも大きな影響を与えた。

特に11月に行われた川口商工会議所青年部主催のイベント「かわぐち fes」ではクリーンイベント参加者が500人に達することが出来た。また参加者にはアトム通貨100馬力を進呈、そのうちの30%が当日中に飲食ブース、物販ブースなどで使用され微力ながらも購買意欲を刺激することが出来たかと考える。街をよくして元気にする仕組みとしてのアトム通貨の「価値」を主催者、参加者に提供できたと考えます。



第14回さいたま環境賞 受賞

さいたま環境賞 詳細はこちらをご覧ください

<http://www.pref.saitama.lg.jp/page/saitama-kankyosyo.html>

・PR効果(媒体で取上げられた事例)

- マイ・シティージャーナル(第9期流通開始について)
- JCNさいたま/CATV(オープニングイベントについて)

・達成できなかった点、課題

【課題】

- 財源の不足
- 事務局メンバーの手不足

【達成できなかった点】

- 加盟店舗数100店舗への拡大 本年度最終加盟店舗数73店舗
- 100馬力、50馬力など高額通貨発行の増加

支部名：札幌 支部

支部概要について

・中心団体と協力団体

発寒北商店街振興組合・NPO 法人まちづくりハツキタ

・2012 年度の加盟店数と特徴

29 店舗 昨年度より 1 店舗減

・2012 年度発行馬力数(見込み) 30 万馬力

・換金率 2011 年度実績 約 16% 2012 年度見込み 約 18%

2012 年度の活動目標と達成度

・活動目標(新規の場合は導入目的)

流通量を増やす。これにより、地域住民への認知度を高め、店舗利用を増やす。

・活動によって得られた効果

商店街への関心が高い人への認知度はかなり高まっていると考える。

・PR 効果(媒体で取上げられた事例)

大通公園にて開催された「さっぽろオータムフェスト 2012」(2012.9.18～9.23)にてハツキタ商店街として参加。
アトムサイダーとパネルにてアトム通貨の PR を行った。

・達成できなかった点、課題

加盟店が 1 店舗減ってしまった。商店街への加盟は増えているが、事業所等が多いためアトム通貨を利用する店舗が増えていないのが現状。

来期への展望

アトム通貨の認知度をアップしたい。(現状:地元住民アンケートにより約 20%) 平成 11 年度認知度が高まることにより加盟希望店が増える可能性が高まるため。

本部への要望

子どもでも簡単に理解できるようなアトム通貨の説明パンフレットが欲しいです。

その他

- ・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例
- ・他の支部への質問

支部名:仙台支部

支部概要について

・中心団体:特定非営利活動法人未来環境福祉ネットワーク

協力団体:マルシェ・ジャポン センダイ実行委員会

トヨタ財団(2012年度 東日本大震災対応・国内助成プログラム)

仙台市内仮設住宅町内会・みなし仮設住宅自治会

・2012年度の加盟店数と特徴

マルシェ・ジャポン センダイ 出店者 220 店舗

いろは横丁商店会 12 店舗

仮設町内会 移動販売店 5 店舗 合計 237店舗 (登録上)

<特徴>

本年度は、「マルシェ・ジャポン センダイ」との連携でスタートした。その後周辺商店街へ説明協力要請を行ったが、積極的な参加は得られなかった。その後、仮設住宅へのアトム通貨配布と同時に、移動販売店との提携を行った。

・2012年度発行馬力数(2013年2月18日現在)

10馬力×【18995】枚 = 189,950馬力

50馬力×【3031】枚 = 151,550馬力

100馬力×【1561】枚 = 156,100馬力

合計 497,600馬力

・換金率 2011年度実績 約「なし」% 2012年度見込み 約**47%**(2013年2月18日現在)

2012年度の活動目標と達成度

・活動目標(新規の場合は導入目的)

3・11東日本大震災により仙台支部の活動も停止状態となりました。

第9期(2012年度)の実施に向けて組織の再構築を行うことし、復興支援事業との連携を図り、5年間の「復興支援アトム通貨プロジェクト」の推進を目的とした。

ア)「エコマルシェ・プロジェクト」

「古着1枚、空き缶10個、ペットボトル20個、エコキャップ30個(目安)」を回収しお持ちいただいた方に対してそれぞれ10馬力を贈呈。アトム通貨の広報活動および回収活動でのお手伝いに参加した方に「160馬力」贈呈。

イ)「復興支援 ありがとう せんだい」プロジェクト

仙台市内に設置された仮設住宅20箇所のコミュニティ活動の支援として、アトム通貨を活用する事業を行う。仮設住宅町内会として再生可能資源(ペットボトル、空き缶、トレー等)を回収していただく、それに対して「アトム通貨」を発行する。アトム通貨は町内会・自治会の自主財源となる。アトム通貨は、仮設住宅町内会が主催または認定する活動(清掃、植栽、健康イベント、ボランティアのイベント等)に参加した人に対してありがとうの気持ちを込めて付与する。

ウ) 他支部での「復興支援活動」への仙台支部通貨の提供

<早稲田・高田馬場支部>

7月13日 キャンドルナイト

9月17日 「早稲田地球感謝祭」

& マルコメ:「三陸ワカメ+仙台麩」味噌汁の販売

12月21日 キャンドルナイト

<札幌支部>

8月25日 「はっさむハツキタの日:キャンドルナイトで節電&被災地支援!」

・活動によって得られた効果

「アトム通貨(地域通貨)」の認知向上。「アトム通貨・カー」が意外と注目が高い。

仮設の皆さんとの連携が深まった。仮設町内会との交流(バーベキュー・クリスマス等)

マルシェのお買い物だけでなく、古着交換に来られる方が増加した。(評判良)



・PR効果(媒体で取上げられた事例)

河北新報夕刊:「アトム通貨」3日登場 仙台市一番町「マルシェ」エコ後押し

環境保護活動の推進と商店街の活性化を目指し、東京・高田馬場発祥の地域通貨「アトム通貨」の仙台版が、発行される。3日から4日間、仙台市青葉区のサンモール一番町で開かれる直販市「マルシェ・ジャポン・センダイ」の会場で、空き缶や古着などと通貨を引き換える。発行元はNPO法人「未来環境福祉ネットワーク」(仙台市)がつくるアトム通貨実行委員会仙台支部。通貨は1馬力1円相当。10馬力、50馬力、100... 2012/05/02 【河北新報】

ジャパン・フォー・サステナビリティ（JFS）他 WEB

アトム地域通貨、仙台市の商店街に登場

～中略

仙台版「アトム通貨」の発行元は、アトム通貨実行委員会仙台支部として活動する NPO 法人「未来環境福祉ネットワーク」。環境保護や国際交流、地元商店街の活性化を目指し、2010 年よりアトム通貨の導入を進めている。2012/07/22

・達成できなかった点、課題

仙台市内の商店街との連携

= 仙台市内の商店街へ説明に回ったが理解を深めるに至っていない。

仙台市内商店街との連携を模索すると共に、商店街に頼らない加盟店増加の方策を考える。

補助金に頼るのではなく、スポンサーの獲得と通貨が回る仕組みの構築を図る。

来期への展望

「復興支援アトム通貨プロジェクト」の継続

「エコマルシェ・プロジェクト」は、マルシェジャパン事業（3年間）が終了し、実行委員会解散するため、サンモール一番町での常時開催ができなくなる。それに伴い、新規のマルシェ開催と連携してイベントを開催し「アトム通貨」を発行することとなる。

また、「移動マルシェ」もスタートする予定なので「仮設住宅」との「復興支援 ありがとう せんだい」プロジェクトも継続していく予定である。

新規プロジェクトの実施(準備中)

被災3県(岩手・宮城・福島)での支部設立への協力

本部への要望

特になし

その他

特になし

支部名:新座支部

支部概要について

・中心団体と協力団体

中心団体：新座市商工会 / 協力団体：新座市・新座市商店会連合会

・2012年度の加盟店数と特徴

加盟店数：148店舗、移転・廃業等による加盟店離脱もあった。

・2012年度発行馬力数(見込み)

	発行枚数	発行金額
10馬力	8,500枚	85,000円
50馬力	4,500枚	225,000円
100馬力	9,900枚	990,000円
合計	22,900枚	1,300,000円

・換金率 2011年度実績 約 % 2012年度見込み 約 %

2011年度実績 約32% 2012年度見込み 約40%

2012年度の活動目標と達成度

・活動目標(新規の場合は導入目的)

加盟店増加を目指したが叶わなかった(目標件数：200件)

・活動によって得られた効果

・PR効果(媒体で取上げられた事例)

・達成できなかった点、課題

来期への展望

新座市、新座市社会福祉協議会と共に「埼玉県地域支え合い事業」を開始し、ボランティアへのお礼に『500馬力』のアトム通貨を活用する予定

本部への要望

その他

・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例

・他の支部への質問

支部名:和光支部

支部概要について

・中心団体と協力団体

中心団体:和光市商工会 後援:和光市、和光市教育委員会

・2012年度の加盟店数と特徴

71店舗 飲食店が中心だが、不動産業や葬祭業、建設業等様々な業種が加盟しています。

・2012年度発行馬力数(見込み)

100馬力×2606、50馬力×2684、10馬力×20797 合計602770馬力(2/18現在)

・換金率 2011年度実績 約40% 2012年度見込み 約40%

2012年度の活動目標と達成度

・活動目標(新規の場合は導入目的)

アトム通貨(地域エコマネー)を導入することにより、産業振興はもとより和光市の地域振興、環境対策、教育活動に寄与することを目的に導入。

・活動によって得られた効果

少しずつではあるが、オープニングイベントや打ち水イベント等を楽しみに待っていただいている方々も出てきており、環境や地域に対して意識を持った方が増えていると感じる。

・PR効果(媒体で取上げられた事例)

「広報わこう」「市民新報」(和光市)「和光新聞」

・達成できなかった点、課題

やはり、実際に配布又は使用していただいている店舗に偏りがある。また、1店舗ではあるが昨年より加盟店が減ってしまった。流通量自体も増やすことができなかった。

来期への展望

今期以上に流通させられるよう、実際に流通させられるであろう店舗等を中心に働きかけ、加盟店を増やしていく。また、実際に流通させられる加盟店を増やすため、様々な業種において、どのように配布できるのか、具体的に示してあげる必要があると思う。

記者クラブ等への働きかけを通じて、PRを行なっていく。

本部への要望

アトム通貨配布例で変わったものがあれば教えていただきたい。

その他

・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例

特になし

・他の支部への質問

アトム通貨配布例で変わったものがあれば教えていただきたい。

支部名:八重山支部

支部概要について

中心団体 : 石垣市商工会

協力団体 : 石垣市、石垣島トライアスロン実行委員会、石垣島マラソン実行委員会、
石垣島まつり実行委員会、沖縄県建設業協会八重山支部、やいま大通り会

・2012年度の加盟店数と特徴

加盟店数 99 店舗のうち、47 店舗が小売店、33 店舗が飲食業と 2 業種で 8 割を占めている。

また、31 店舗は「やいま大通り会」の会員が加盟店に登録。全加盟店数の約 3 割を占めている。

・2012年度発行馬力数(見込み)

馬力数	発行枚数	金額
10馬力	6,590 枚	65,900 円
50馬力	8,944 枚	447,200 円
100馬力	36,867 枚	3,686,700 円
合 計	52,401 枚	4,199,800 円

・換金率 2011 年度実績 約 92% 2012 年度見込み 約 85%

2012年度の活動目標と達成度

・活動目標

イベント名	発行予定額	実際発行額(2/15現在)
石垣島トライアスロン大会	850,000馬力	1,052,000馬力
南の島の星まつり	50,000馬力	5,000馬力
石垣島まつり	500,000馬力	582,000馬力
石垣島マラソン大会	3,200,000馬力	2,114,000馬力
その他	0馬力	390,200馬力
合 計	4,600,000馬力	4,138,200馬力

・活動によって得られた効果

2年目ということもあり、地域での認知度もある程度広がって来た。

地元の子供達にも浸透してきており、学校の授業にも取り上げられた。

・PR効果(媒体で取上げられた事例)

特になし。

・達成できなかった点、課題

認知度は広がって来たが、使う場所、使う場面が浮かばないとの意見も多く頂いた。
使うシーンを分かりやすく見せるツールが必要。

加盟店増強が出来なかった。

イベント参加者数の変動によって、発行額が左右されてしまうので、大きなイベントに
頼りっきりにならないよう、小さな活動を数多く手がけて行きたい。

来期への展望

来期は電子的な地域ポイントも始動する予定であり、アナログなアトム通過の強みを
強化して、相乗効果で地域活性化を目指したい。
既存の商店街ポイントの連携も模索したい。

本部への要望

その他

・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例

・他の支部への質問

支部名: 春日井支部

支部概要について

・中心団体と協力団体

中心団体: 春日井市商店街連合会

協力団体: 春日井市民活動連絡協議会、春日井市認定特産品協議会

・2012年度の加盟店数と特徴

234店 連合会加盟市内14商店街を中心として春日井市全域に点在

・2012年度発行馬力数(見込み)

2,376,590馬力(2月15日時点)

・換金率 2011年度実績 2012年度見込み

約85%

約 % (現在は49%昨年より下落の見込み)

2012年度の活動目標と達成度

・活動目標(新規の場合は導入目的)

活動を通じて市内の各団体との連携を密にし、商店街の社会的役割を認知してもらう

・活動によって得られた効果

特に行政との関係が一層密になった

認定特産品のイベントに使ってもらい市民へのPRが出来た

・PR効果(媒体で取上げられた事例)

特になし

・達成できなかった点、課題

もらえる店を増やす事

来期への展望

支部主催のイベントを増やし、もらえる店を後押しできるような告知方法を考えたい。

引き続き良好な行政との関係を維持しつつアイデアを提供していきたい。

本部への要望

高額(例:500馬力券)券の発行。

その他

・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例

とにかく、行政を巻き込む方法を考える

・他の支部への質問

特になし

支部名:新宿支部

支部概要について

- ・中心団体と協力団体
新宿区商店会連合会
- ・2012年度の加盟店数と特徴
57店(行事開催時のみ 18店、新宿サイダー取扱店30店、常時9店)
- ・2012年度発行馬力数(見込み)
880,000馬力
- ・換金率 2011年度実績 約 80% 2012年度見込み 約85%

2012年度の活動目標と達成度

- ・活動目標(新規の場合は導入目的)
取扱店の拡充(イベント活用を含む)
- ・活動によって得られた効果
新宿サイダーの取扱店の増加
- ・PR効果(媒体で取上げられた事例)
日本ガラスびん協会の広報紙
- ・達成できなかった点、課題
取扱店は縮小

来期への展望

- 取扱店の拡充
新宿シティーフマラソンでの活用

本部への要望

- 特になし

その他

- ・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例
- ・他の支部への質問

支部名：安城支部

支部概要について

・ 中心団体と協力団体

中心団体：安城市商店街連盟 (安城市内商店街振興組合 全 11 単組)

協力団体：安城中央商店街連盟 ・ 安城市 ・ 安城商工会議所 ・ (株)安城スタイル(まちづくり会社)
まちづくりAnjo ・ (協)安城サルビアスタンプ会 他、15 団体

・ 2012 年度の加盟店数と特徴

加盟店数：『もらえるお店』 19 店舗 『つかえるお店』 267 店舗 加盟店合計 268 店舗

支部特徴：加盟店の換金方法が地元の信用金庫(市内 10 本支店 + 市外 1 支店)にて換金が可能。

加盟店は 飲食 2 : 物販 2 : その他(サービス) 1 の割合で構成されている。

・ 2012 年度発行馬力数(見込み)

10馬力 × 8,850 枚 = 88,500 馬力

50馬力 × 49,966 枚 = 2,498,300 馬力

100馬力 × 1,063 枚 = 106,300 馬力

発行合計 2,693,100 馬

力(見込み)

・ 換金率 2011 年度実績 約 73.0 % 2012 年度見込み 約 60.0 %

2012 年度の活動目標と達成度

・活動目標(新規の場合は導入目的)

商店街として、まちづくり(人づくり)における取り組みの一環として取り組むと同時に、市民に商店街をより身近な存在と感じ、各個店の良さや商店街の良さを知って頂く機会の一助になりたいと考えております。

・活動によって得られた効果

イベントなどでアトム通貨を配布する事により、今まで商店街をあまり利用されていなかった方を、商店街へ誘導する事ができた。

・PR効果(媒体で取上げられた事例)

碧海信用金庫発行 『へきしんディスクロージャー 2012』にて掲載される。

・達成できなかった点、課題

- ・ アトム通貨について、アトム通貨の使える場所などの周知が市内全域には行き届いていない。
- ・ 今年度(第9期)での、市役所としての利用が得られなかった。
- ・ プロジェクト参加店の拡大。

1. 来期への展望

- (1) . 安城市を含めた通貨の利用団体数の拡大。
- (2) . プロジェクト参加店数の拡大。
- (3) . 加盟店数の拡大。
- (4) . 資金確保の模索。

本部への要望

- ・ いつも即座にとても丁寧にご対応下さり、本当にありがとうございます。今後とも宜しくお願いします。

その他

- ・ 他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例

【 プロジェクト事例 】

- ・ 親子ご来店プロジェクト: 親子でご来店されて 1000 円以上のお買い物のお客様に 100 馬力進呈。
- ・ 親子3代ご来店プロジェクト: 親子3代でご来店され1000円以上のお買い物のお客様に500馬力進呈。
メガネ屋さんにて実施されていますが、お買い物の際に、一緒にご来店頂だけでアトム通貨が貰えるというお得感からか、多くの方がご参加くださった様で、追加購入して下さっています。

【 イベント事例 】

・ 『アトム通貨加盟店へ行こう!』 : 安城市商店街連盟が発行するプレミアムお買物券「あきんどく～ぼんプラス」を購入頂くと、商店版1セット(1万円)につき50馬力1枚進呈、建設版1セット(5万円)につき50馬力2枚進呈いたします。

という内容で、アトム通貨配布イベントを組みました。それにより、普段 大型量販店やチェーン店ばかりに行かれる方にも、商店街(のアトム通貨加盟店)でしか使えないアトム通貨と、アトム通貨の加盟店一覧をお渡しする事により、商店街へ足を運んでもらう機会を作る事ができ、さらにアトム通貨の流通量を一気に増やす事が出来たので、加盟店で利用される機会が増え、加盟店の意識にも変化がみられてきました。

- ・ 他の支部への質問

正直な話、安城支部では実質的に(換金率が高い為)費用負担が大きく、継続が苦しい状態ですが、他支部の皆様はどの様にして、費用を捻出してらっしゃるか、お教え頂けますでしょうか。

支部名:女川支部

支部概要について

・中心団体と協力団体

女川町商工会及び行政はじめ7団体の協力で多くのイベントを開催し、アトム通貨を配付することが出来ました。

・2012年度の加盟店数と特徴

64事業所が加盟。加盟店と個別にプロジェクトの企画を考えたので特にサービス業が特色の出たプロジェクトになったと思います。自動車整備会社が10月とプロジェクト申請が遅くなった事もありエコタイヤ(夏タイヤ)を来期の予約した場合でもOK。

・2012年度発行馬力数(見込み)

775,200馬力

・換金率 2011年度実績 約 % 2012年度見込み 約 50%

2012年度の活動目標と達成度

・活動目標(新規の場合は導入目的)

東日本大震災で約1,000人近くの方々が亡くなったり行方不明になりました。そして震災前の人口が1万人強でしたが、震災後8,000人とも6,000人とも言われております。仮設住宅が出来る前に町外・県外の子供・兄弟の所に移り住んで帰って来ない人たちが多く居るためです。これ以上の人口流出防止と何とか立ち上がった商店の活性化を目的に町内購買力流出防止と町外の購買力流入に貢献するため。

・活動によって得られた効果

各加盟店の町内購買力流出防止貢献のため町内循環の意識づけが出来たと思われる。

・PR効果(媒体で取上げられた事例)

新聞紙上並びにイベントのテレビ放映(ウォークラリー・歳の市)のため参加者が貰って直ぐ店に買い物に行ったり、来町の記念に持ち帰る人が多く、女川町のPRに繋がっていると思われます。

・達成できなかった点、課題

年度途中からの事業開始のため商工会自体で行うイベントの制限と異常(通常)業務と平行しての実施のため開催数の確保、各加盟店の通貨回収方法の徹底。

来期への展望

イベント回数の増と通貨回収方法を各加盟店と検討を重ね回収率を上げる。但し、来期は女川オリジナルの透かしになると又、更に持ち帰る人が増えると思われるので配付する金種での対応を考えておりますが、女川町のPRには大きく貢献できると思われます。(100馬力 50馬力・50馬力)

本部への要望

- ・色々対応して頂き大変満足しております。
- ・今期加盟店は、年度中途開始もありますが、多くの発行を見込んでの申請でしたので、未配付の通貨が発生すると思われますので、その換金も含まれますことご了承下さい。

その他

- ・他の支部にもオススメしたいプロジェクトやイベントなどの事例
マイカー使用が多くなった昨今、歩く機会が少なくなったこともあり自らウォーキングしている方々がいます。女川町は被災地という事もあり、町の中心部から遠い仮設住宅に住んでいます。その方々を一堂に会したウォークラリーはマラソンよりもハードルが低いので、是非、開催をお勧めします。歩いている途中の笑顔、ゴールした時の参加者のすがすがしい笑顔は最高です。

- ・他の支部への質問